

広報

かがわ

第111号

編集発行
香川自治会
広報委員会
興版印刷所

香川の人口
10,016人
男 5,003人
女 5,013人
香川の世帯数
3,089
(2.9.1現在)

第7回敬老大会

“さがみ秋天”とでも言えそうな、さわやかに晴れわたった10月28日の日曜日、香川自治会恒例の第7回敬老大会が、市老人福祉センターでにぎやかに開催された。

招待百名、にぎやかに

成果上ぐ奉仕活動

会場が茅ヶ崎駅に近いこともあって、集合は各自が自由に直接することになった。香川駅には、秋の日ざしのなか三三五五お年寄りの輪ができた。定刻の十時半には、招待者百十二名の大半が集りほぼ満席。柳沢文化厚生委員長の開会宣言について、熊沢自治会長

の挨拶、岡本市議、斉藤評議員長の祝詞があつて、歌と踊りのはなやかな幕があいた。司会は、主婦の三橋きくよさんが美声をかわれての奉仕活動。それに踊りの幸多香寿会、寿舞踊会、幸香愛好会、鳳雀会、木の花流の皆さんと

まず、最初は「人生盃」。青い衣裳と足袋の白さが窓外にひろがる秋空を思わせる。以下、相川音頭、江刺甚句おこさ節等の民謡、悲しい酒ブルーライト横浜、星影のワルツなどの懐かしのメロディ等の艶やかな踊りがつぎつぎと舞台いっぱい披露された。お年寄りのなかには、舞踊グループの会員で、自から舞台へ出る人も多く、相当の高年齢ながら、立派な踊りを披露する。日頃の成果だろう。女性の時代と云われるが、



(上) 「潮来花嫁さん」いくつになってもいーね。
(中) 艶やかな晴れ舞台に客席の顔もほころぶ。
(下) フィナーレは「好きになった人」でー。

飛び入りにハワイアンを踊るのは文化厚生委員の三浦初枝さん。教えてもらう来賓、役員の出来ばえはもうひとつ！。プログラムに男性の名が見えるのは最上川船唄のみ、招待者の比率も八対二ぐらいで女性が多い。だが、昼食時間を利用した飛入り大歓迎は男の舞台。剣舞川中島、正調佐渡おけさ、国境の町、白虎隊などが、豪毅にあるいはしんみりと、それぞれ味のある舞台となった。そしてフィナーレは「好きになった人」。明日への希望をメロディーに託すかのよう

年末年始掲示板

○赤い羽根・年末たすけあい — 自治会で拠出

自治会の予算書でお知らせしているとおり、これらの募金については、自治会で拠出しています。ことしは、

赤い羽根 780,684円
年末たすけあい 346,647円

○年末の火災予防

まず消そう
火への鈍感 無関心

香川消防団ではことしも12月25日から30日まで夜間パトロールを行ないます。火の取扱いには、くれぐれも注意しましょう。

○自治会の賀詞交換会

自治会では平成3年新春の賀詞交換会をつぎにより開催します。

会員の皆さまのご出席をお待ちしています。

日時 1月1日 午前11時
会場 自治会館

○初詣歩行大会の開催

集合場所 諏訪神社境内
受付開始 おおみそか夜11時半。出発、元旦0時半。

経路 香川駅前、グリーンゴルフ前、寒川駅前を経て寒川神社参集殿に1時半着、自由時間1時間。帰りも同経路
香川駅前3時半解散

ゴミ出しはルール厳守

心がけよう再利用を

先月、自治会の衛生委員会から「ちがさき市のゴミ処理の現状―ゴミはルールを守って出しましょう」という資料が回覧された。不在の方もいられたと思うので、要約を紹介しよう。

①市全体のゴミの量は平成十年には現在の1.4倍の八万四千トン(年間)になると予想される。

②ゴミ焼却施設は老朽化と炉の整備補修等で、だんだん処理能力に余裕が無くなって来ている。平成六年までに新炉を建設する計画だが、二百億円かかる。最終処分地にも限度がある。

③ゴミ処理に使われる市の予算は市民一人当り一万円。

④燃えるゴミの日に outs された缶やビン等は焼却炉に入ると、設備故障の原因になる。必ず燃えないゴミの日に outs しよう。

以上のような回覧だった。今やゴミ問題は日本の都市

はもろろんのこと世界的課題となっており、行政の推進とあわせて市民ひとりひとりの自覚が何よりも求められている時だと思ふ。

最近のゴミの問題点について、市環境美化センターにきくと、①可燃ゴミの中にダンボールや新聞紙などの資源ゴミが多い。②依然として、可燃ゴミの中に缶、ビン、プラスチックという不燃ゴミや有害ゴミ混っている、という話

だった。アルミ缶は溶けて炉の通気孔をふさぎ効率を悪くしプラスチックは高温で炉をいためる。ビンや缶は燃えのこり残灰とともに最終処分地へ行くが、これは貴重な処分地の寿命を早めることになる。

ゴミは、分別の徹底、決められた曜日、場所等の厳守、資源ゴミは再利用を心がけるなど、身近かなところから実行したいもの。

冬に備え駅前清掃 約五十人が参加して

好天にめぐまれた十一月十一日の日曜日、環境整備委員会の主催による駅前清掃が行なわれた。

自治会、子ども会など約五十人が参加し、冬に備えてカシナやダリアの刈りとり、雑草とりなどをした。

環境整備コンクール 作文の部 金賞

香川小六年

武井 宣子

資源の再利用を

「あつ、またある」

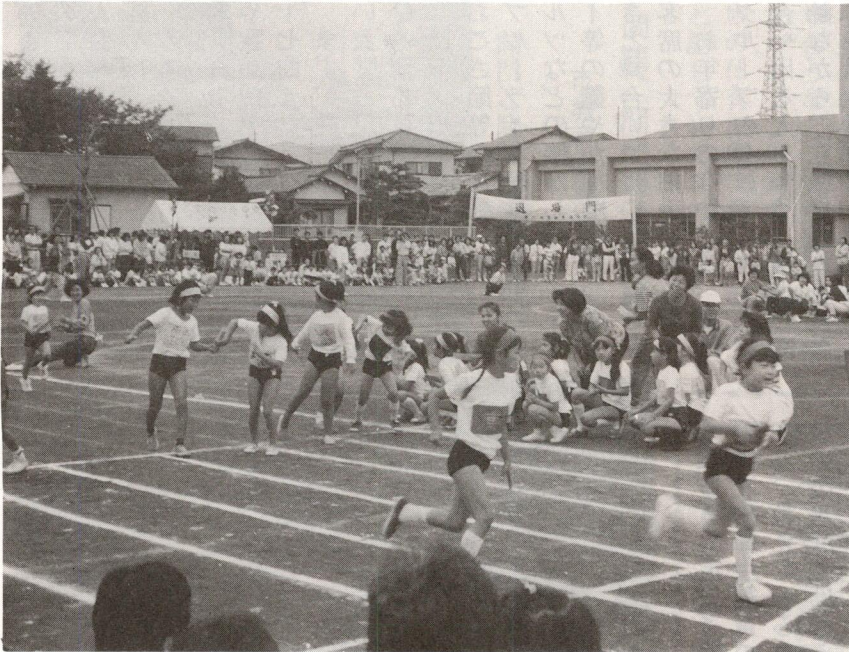
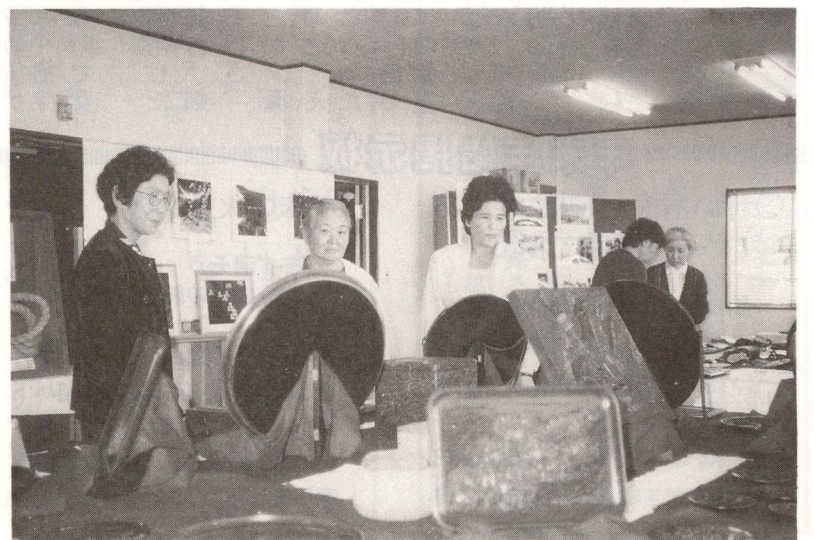
学校帰りに、近くの公園の前を通りかかった私は、心の中でそうつぶやきました。生ゴミの日ははずなのに、たばねた新聞紙が捨てられていたのです。新聞紙だけではありません。ポロきれやガラクタの日にはアルミ缶なども捨てられているのです。これらの

物は皆、限りある資源です。その資源を生かすために、私達の子供会では毎月、廃品回収を行っています。廃品回収をやっていると、資源たちが、人と人とをむすぶ、心の虹のようになり、香川の人達が、その虹の橋をわたった時、人と人とのふれあいが生れるような気がします。

私は廃品回収を通じて、いろいろな人達とふれあう事ができましたし、みんなで協力してやると、とても楽しくできることを知りました。そして同じ子供会の人達との友情も深まり、とてもうれしいです。新聞紙やアルミ缶は、ゴ

文化祭

十一月三、四、五の三日間開催されたが、あいにくの雨で屋外部門は中止。(上)菊のコンクール、一位亀井家治、二位中村政一郎、三位山口武広の皆さんが入賞。(下)工芸部門会場



体育大会

十月七日、小雨模様のなか約二千人が参加して盛大に開催。(上)子供会対抗リレーのバトンタッチ (下)一般男子の100米競争



委員長登場 ①

今号から、会長、副会長を補佐し、自治会活動の中心となっている委員長の登場。

人口一万、世帯数三千という一つの町や村の規模。それだけに活動もむずかしい。

総務委員長

渥美隆次



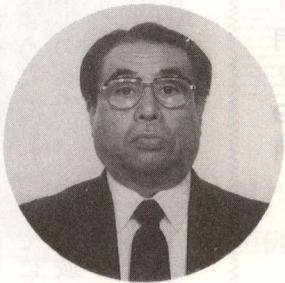
男はつらいよ

少しでも地域のお役は立てばと、総務委員長の仕事を引受けました。しかし、その仕事の多種多様さだけでなく、自治会に対する会員の考え方や関心が多種多様であることにも驚いています。総務の仕事内容まで、会則には明記し

てありませんが、いろいろな会員のいろいろな意見を受けとめ、腹の立つことがあっても、じつとがまんして、地域の発展のために、出来るだけの務めかなと思っています。多分、苦勞の多い二年が続くでしょうが、引受けた以上、「人間、辛抱だ」と自分に言い聞かせ、笑顔を忘れず頑張りたいと思います。よろしく。

会計委員長

中根元一



自治会を縁近きものへ

激動の昭和から平成へと移り変わる時代の中に、四十余年と云う輝かしい歴史のある自治会に、新参者の私が、役員の一員として大役を仰せつかり戸惑を感じている次第です。よりよき町づくりのためにも、皆様のニーズに応えるべく又、

自治会が、わかりやすく、縁遠いものから、縁近く親しみやすいものとするためにも、全力を尽くし、先任の方々のご教示を賜り頑張る所存です。こんな考えにたつて、大切な費用をお預かりする会計委員長の役目を果たしたいと思っています。会員皆様方のより一層のご理解と自治会に対するご協力をお願いいたします。

文化厚生委員長

柳沢宗一



福祉社会(地域)をめざして

今年度文化厚生委員長を指名されまして、私自身の様に対応したらと思いつながら、納涼大会、敬老大会、文化祭を香川の皆様方の御支援と、御協力に依りまして無事終了させて戴きました。本当に有難う御座居ました。厚く御礼

申し上げます。今後は行届かない問題を反省し、微力ながら勉強させていただきます。又、地域の福祉問題も多様化し、複雑化する時代に向い皆様方・自治会、各種団体の御指導に依り、香川の発展の為に、老若男女、共に助け合い、愛の手で明るい香川の町づくりに皆様方の御協力を、お願い申し上げます。ご挨拶といたします。

今年の八月 香川の人口一万人台へ

自治会の使命大きく

香川の人口が去る八月ついに一万人台にのった。終戦の昭和二十年に一〇二八人で二十年代はほぼ横ばい。それが高度成長とともに急増し、四十年以後は表のとおりである。四十年から四十五年までの五年間の増加数は二〇三七人で、これをピークに増加数、増加率とも低下し、最近の五年間では七三七人の増、増加率は七・九%と一桁となった。だが、香川各地に人口増のさざしが見えはじめた。

香川、下寺尾地区の区画整理事業が計画されるなど、いずれも香川の人口増の要因になることは間違いのないことである。一世帯当り人員減少

熊沢自治会長の就任あいさつ

(本紙六月発行号)にあるとおり、現在、日本高度鋼跡地の団地建設やマンション建設が実施されている。また、

昭和二十年の一世帯当り人員は五・〇人だったが、三十五年四・三人となり、以後四十五年三・七人、五十五年三・四人、そして本年は三・二人と減少した。これは核家族化や単身世帯の増加をうかがわせるものであり、都市化への一面をしめしているといえよう。

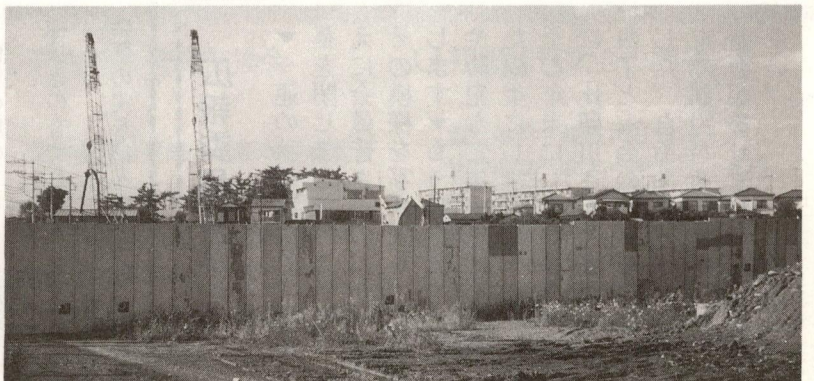
安全で住みよい香川へ

人口の増加は地域に繁栄をもたらす反面、道路、交通、下水道など公共施設の整備が追いつかないと環境悪化の要因ともなる。

また、都市特有の近隣社会に無関心層住民の増加も予想される。

安全で住みよい地域社会をつくらうという自治会の使命はますます大きい。

(写真)住宅・都市整備公団による高度鋼跡地の団地建設現場、大山街道側から写す。

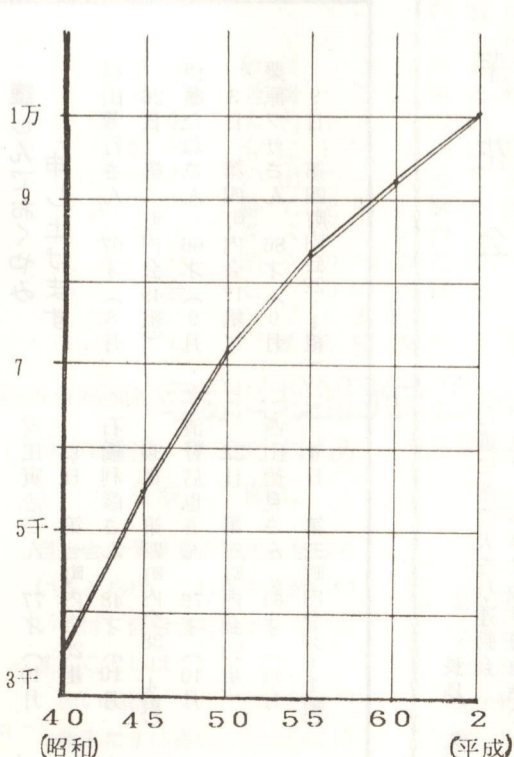


香川・茅ヶ崎市人口増加状況

	香川			茅ヶ崎市人口
	人口	人口増加率 %	世帯数	
昭和 40	3,507		896	100,081
45	5,544	58.0	1,487	129,621
50	7,249	30.7	2,013	152,023
55	8,342	13.1	2,438	171,016
60	9,279	11.2	2,710	185,030
平成 2	10,016	7.9	3,089	202,013

- 各年10月1日現在(平成2年については、国勢調査結果作業中につき9月1日現在とする)
- 茅ヶ崎市統計資料から作成

香川の人口グラフ



香川の子ども会

仲通りの家々には、毎月第一土曜が近くなると子供達の廃品回収を知らせる手書きのピラが投げこまれる。ワープロで活字に慣れた目に、この手書き文字は新鮮にうつる。

香川の子ども会による廃品回収は、昭和四十二年頃子供達が地域の人々と触れ合うなかで勤労と協力の喜びを味わい、活動資金を自からの努力で得ようとした。すでに二十余年の歴史をもち、地域にリサイクル活動を定着させた功績は大きい。特に地球的規模で環境保全、省資源が叫ば

れている今、その役割はますます重要になってきた。香川の子ども会は、原東、原西、北、間門、間門西、仲通り、東の七子供会に分かれ、各子供会が月一回を原則に廃品回収を行っている。作業は子供中心だが、毎回

経をつかう作業である。間門子ども会の場合、この十月の実績は回収量一・四トン売却代金約九千円。昨年度の各子ども会の売却代は、それぞれ五万円から十万円ぐらいではないかという。益金がキャンプ、地区運動会、新入

方、門前に出して下さる方、電話でまた行きずりに声をかけて下さる方など、皆さんのご好意は、すべて私達にとって暖かい励みです。このご好意に支えられて続けることができるのだと思います。おかげさまで、子供会も楽しく運営されています」と感謝の気持ちでいっぱいの方だった。(文責 関野)

地域に根づくリサイクル 廃品回収を二十余年

六、七人のお母さんが指導員として参加、ポスターやピラづくりから回収、運搬、分別整理、回収業者への引渡し、最後に売上げの報告をかねた礼状のピラづくりまで、子供会によってやり方は異なっているようだが、やはり手間と神

生歓迎会、餅つき等の活動に当てられるというだけでなく、省資源、リサイクルという今日的課題を身をもって実践することであり、よき勉強の場とも云えよう。子ども会の武井すみ子さんは「集取場所に届けて下さる

12月の廃品回収日と連絡先
東 8日 重松(53)一〇三一
北 16日 河崎(51)六八六三
仲通り 1日 飯沼(57)七七九四
間門 2日・27日
間門西 15日 藤井(57)七一三九
原東 22日 藤井(52)二〇四六
原西 9日 能勢(52)一一七五

犯罪71件、大半は窃盗

年末は特に用心を

1月～9月
せわしい歳末が近づいてきた。忙しさにまぎれて防犯への心がまえがおろそかにならないようお互いに注意したいものだ。

在宅にもかかわらず侵入されること)二、事務所荒し二。凶悪な犯罪は発生していないが油断は禁物。

香川における犯罪の発生状況を茅ヶ崎警察署の防犯課にきいてみた。

防犯は日ごと 家ごと、地域ごと

毎日の暮らしのなかで、外出や就寝の際の戸締り、自転車やオートバイ等のロックなど各自が責任をもってすることが大切だ。

ことし一月から九月までの発生件数は七十一件。この大半は窃盗で、内訳は自転車二十、オートバイ十九、部品盗三、自動車二、車上ねらい二の順。だが家屋へ侵入して窃盗をはたらき、場合によっては強盗になるかも知れないという侵入盗が五件、内訳は空巢一、しのびこみ(家人が

ひったくりにあわないために明るい路をとる、悪質な訪問販売にやられないためにうまい話には注意するなど、日頃から心がけよう。

比留川(二町)さん

マスターズ陸上大会へ

十月十三日から四日間和歌山市で開かれた全国スボレク祭マスターズ陸上競技会へ第二町内会の比留川豊さんが神奈川県代表として出場した。

比留川さんは二百米と四百米競争に出場、快調に走ることであったが、それぞれ十六位、十四位と入賞を逸した。でも全国四十七都道府県からの参加者のなかでは上位の成績であり、大健闘であった。



間門、間門西子ども会

市教育委員会から表彰

「全国の元気な同年輩者と語り合うなど、有意義な四日間だった。この貴重な体験を地域の体育振興に役立てたい」と話していた。

間門と間門西の二つの子



謹んでお祝い申し上げます

- 杉山芳行さん 67才(8月)
- 26日 第二町内会49組
- 伊藤たねさん 66才(9月)
- 3日 第四町内会17組
- 栗原フサさん 86才(9月)
- 9日 第四町内会22-1組
- 安田寅志さん 77才(10月)
- 13日 第一町内会28組
- 石橋利彦さん 48才(10月)
- 30日 第四町内会38-4組
- 清野信也さん 79才(10月)
- 22日 第三町内会23組
- 西山徳見さん 61才(11月)
- 4日 第三町内会31-1組

茅花会

- 平塚 司郎
- 取口は覚えてみると勝相撲
- 秋蛙のふれて動きけり
- 柿を喰む鴉に暮のチャイムかな
- 月の道かわるがわるに兒を抱いて
- 渡りゆく鳥黒々とくろくろと
- 陽の届く遅き朝食秋深む
- 秋晴やポケットに入る句帳買ふ
- とどまればはたと止みけり昼の虫
- 長島 久江
- 行進に迷ひ大をり運動会
- 平凡といふ幸せや秋刀魚焼く
- 本城 秋
- 料理に菊の花添え客を待ち
- 石田カツ子
- 渡り鳥数へるうち点となり
- 小池フサ子
- 秋深し護摩の太鼓の身にひびき
- 鈴木 よし
- ひとときの香を染しめり金木犀
- 香沢 幸子
- 手作りの胸のブローチ文化祭
- 青木 貴子
- 稲扱きの音で目ざめし幼き日
- 齊藤きぬ子
- 紫蘇の実を摘んで待つとや母の声

広報委員会から

も会が、この度、市の教育委員会から、その優れた活動を賞讃され表彰を受けました。昭和四十二年発足以来、多くの子供たちがさまざまな活動を通じて素晴らしいものを学び立派に羽ばたいていきました。これからも子ども会の活動はますます重要になります。子供達の心を思いやりながら健やかな育成につとめることは地域の大人たちの使命です。香川の子ども会の発展へ、みんなで参加したいものです。(写真) 間門子ども会の廃品回収。

(関野)